

「コレット 『シェリ』 —— 小説・映画・翻訳 ——

10月31日 14h30～ 世田谷学習センター



映画『わたしの可愛い人—シェリ』（東急文化村）の公開と、コレットの原作『シェリ』（左右社）の翻訳刊行に合わせたトークセッションです。ゲストは映画の字幕を担当なさった翻訳家、古田由紀子さん。文芸作品の映画化をどう思う？ 映像と文字情報の技術的な関係は？ 字幕と翻訳の根本的なちがいは？ といった話題もふくめ、『シェリ』という作品、コレットという作家の魅力について、存分に語り合いたいと思います。

来年度1学期には『世界の名作を読む』（2011年度開講）の関連科目として、面接授業で『シェリ』をとりあげます。前倒しイベント(?) にふるってご参加ください。

於：放送大学東京世田谷学習センター

日時：10月31日（日）

時間：14h30～16h00

(終了後、1時間ぐらい、出席者と自由にやりとりする枠を設ける予定です)



映画『わたしの可愛い人—シェリ』、10月16日より東急Bunkamura ル・シネマにて公開!

監督スティーブン・フリアーズ、出演ルパート・フレンド、ミシェル・ファイファー、キャシー・ベイツほか  
字幕監修・工藤庸子、字幕・古田由紀子、セテラ・インターナショナル配給

声に出して読む翻訳コレクション コレット『シェリ』、全国書店にて発売中

「なぜってぼくは、きみなしではいられなくなった、ほかの理由なんかあるわけないさ」  
フランス恋愛小説の傑作を、読みやすい音読を想定した翻訳でおくります。

訳者による文学講義、65枚収録!

「新しい女」たち／「一人称にてのみ物書かばや」—晶子・らいてう・寂聴／レアはコレットか  
娼婦たち—「ココット」は「花魁」ではない／コレットの庭と日本の香り—深尾須磨子  
薔薇色の房のアカシア／小説を声に出して読む／われらのコレット (訳者解説より)

B6判並製 / 232頁 / 定価 1,429円 + 税 / ISBN978-4-903500-43-8

声に出して読む翻訳コレクション コレット 1

シェリ  
コレット  
工藤庸子

